令和８年度　福岡市中学校新人体育大会

第43回福岡市中学校新人柔道大会　要項

主　催　　福岡市中学校体育連盟　　福岡市教育委員会

１．期　日　　令和８年　10月　31日(土)

開　　場	８：15 ～	
選手受付・体重測定	８：20 ～ ８：50	（保護者入場　８：30　～　８：45）
審判・監督会議	８：55 ～ ９：05	※前後する場合があります。
開　始　式	９：10 ～	
競　技　開　始	９：20 ～	（女子予選→男子予選→昼休憩→女子決勝T→男子決勝T）
閉　会　式	競技終了後	※女子予選Rがない場合、男子予選Rから実施する。

２．会　場　　福岡市総合体育館　武道場　　福岡市東区香椎照葉6-1-1　　TEL092-410-0314

３．参加資格

(1) 中学校における参加選手は福岡市中学校体育連盟加盟校に在籍し、学校教育法に基づく当該中学校生徒で、当該学校長が認めたものであること。

(2) 地域クラブ活動における参加選手は福岡県下の中学校に在籍し、学校教育法に基づく当該中学校生徒で、福岡県中学校体育連盟に参加認定（全日本柔道連盟・中学校体育連盟に登録）されたものであること。

(3) 選手は、定期健康診断等で異常が認められず、相当量の練習を積み、当該代表が適当と認めた者でなければならない。

４．参加制限

(1) 男女ともに団体戦のみとし、チームは１校単位で編成する。

(2) 男子チームの編成は、監督（校長・教職員）１名、選手７名以内とする。

(3) 女子チームの編成は、監督（校長・教職員）１名、選手４名以内とする。

５．競技方法

(1) 団体戦は、各パートでリーグ戦を行い、各パート２チームが勝ち上がり、その後トーナメント戦により順位を決定する。※出場チームの数によってはこの限りではない。

(2) チーム間の勝敗は次のとおりとする。

① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
② ①で同等の場合は、「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多いチームを勝ちとする。
③ ②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
④ ③で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
⑤ ④で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
⑥ ⑤で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により１名を選出する。

(3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。

① ３勝、２勝１分、２勝１敗、１勝２分、１勝１敗１分、１勝２敗、３分、２分１敗、１分２敗、３敗の順とする。
※原則４チームでのリーグ戦とするが、出場チーム数によってはリーグ戦の勝敗数が変更となる。
② ①で同等場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多いチームを上位とする。
③ ②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多いチームを上位とする。
④ ③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多いチームを上位とする。
⑤ ④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「有効」による勝者数の多いチームを上位とする。
⑥ ⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多いチームを上位とする。
⑦ ⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ないチームを上位とする。
⑧ ⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ないチームを上位とする。
⑨ ⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ないチームを上位とする。
⑩ ⑨で同等の場合は、リーグ戦を通じて「有効」による敗者数の少ないチームを上位とする。
⑪ ⑩で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ないチームを上位とする。
⑫ ⑪で同等の場合は、代表戦（１名）により順位決定戦を行う。

6．競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規定、「少年大会特別規定」（2026年4月1日より施行）及び本大会の申し合わせ事項による。

(2) 勝敗の判定基準は、団体戦においては「一本」「技有」「有効」または「僅差（指導の差２以上）」とする。

(3) 代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、３分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

(4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
{「一本」＝「反則勝ち」＞「技有」＞「有効」＞「僅差」}

(5) 試合時間は、３分間とし、延長戦は無制限とする。

(6) 競技規則に問題が起こった場合は、専門委員会で協議する。

(7) チーム編成（オーダー）は、体重順とし一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。
また選手６・７(選手４）を入れる場合も同じ。（体重が同じ時は新たに入るものが先鋒に近い方とする）

① 試合は、選手５名（女子３名）の対抗戦とする。
② 毎試合でのオーダーの変更は認めない。
③ 一度退いた選手の再出場は認めない。
④ 申込みをしている選手が事故等のため変更するときは、大会開始前までにこれを認める（変更届をチーム代表者名で提出すること）。
※ 変更の手続きとして、すでに登録してある選手６・７（選手４）からの補充を優先に行い、新たに補充する選手が、選手６・７（選手４）に再登録をする。但し、最初から選手６・７（選手４）の登録をしていない場合は、その限りではない。
⑤ 欠員が生じた場合は、先鋒の方から空きとする。

(8) 柔道衣の色は白色とし、帯は黒帯のみとし、女子の白線入りの帯は認めない。

(9) 柔道着にゼッケンを着用して試合をする。（チーム名・名字入り）
① 布地は白色とし、サイズは横３０～３５ｃｍ、縦２５～３０ｃｍとする。
② 名字（姓）は上側２／３、チーム名は下側１／３とする。
③ 書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい。）
④ 文字色は、男子が黒色、女子は濃い赤色とする.
⑤ 襟から5ｃｍ～10ｃｍ下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

(10) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のＴシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。

(11) 出場選手は、指定された時間帯に体重測定を必ず行うこと。計測を受けなかったチーム・選手は、出場を辞退したものとする。

(12) 柔道衣コントロールは、従来通りの方法で実施する。
※ 現行の（公財）全日本柔道連盟柔道着規格に合格した（上衣・下穿き・帯）を着用すること（新規格の赤色のマーキングのもの）。

(13) 胸マーキング等について、チーム名等も可とする。柔道衣のゼッケンと胸マーキング等は 統一とする。

7．外部指導者(コーチ)のベンチ入りについて

(1) 中学校における引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。

(2) 地域クラブ活動における引率・監督・コーチは、県中体連に登録し、承認を受けた責任ある代表者・指導者とする。

(3) コーチのベンチ入りは男女問わず１チーム１名とし、ベンチ入り希望者は大会出場申込用紙に氏名を明記の上、チーム1名のみ申請を行う。また大会当日は本人に限る。

(4) 令和８年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項によりすでに手続き・登録が完了している者に限る。地域クラブ活動も同様とする。

(5) 服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守り、良識ある態度で生徒の指導にあたる。

(6) 監督会議への参加は認める。監督会議での申し合わせ事項等は、連絡を密にとり内容の周知徹底を各学校の責任において図る。

8．審判員 原則としては、審判ライセンスを有した者があたる。

9．表 彰

(1) 優勝チームには、優勝旗、優勝杯、賞状（登録選手全員）を授与する。

(2) 準優勝チームには、準優勝杯、賞状を授与する。

(3) ３位チームには、賞状を授与する。

10. 申し込み　申込書は、福岡市中体連ホームページよりダウンロードし、１０月１６日（金）までに福岡市柔道専門部長まで提出すること。

提出先　福岡市南区桧原２丁目２１番１号　(23) 花畑中学校　進藤　竜二　宛

※１０月２２日（木）１５時００分から福岡市立千代中学校にて専門委員会を開き、市大会の組み合わせ及び準備等を行う。 福岡市博多区千代４丁目１７番４７号

11. その他

(1) 福岡市中学校体育連盟遵守事項厳守のこと。

(2) 大会出場選手の服装・身なりについての指導を行い、状況によっては大会参加を認めないこともある(福岡市中学校総合体育大会・生徒の健全育成のための確認事項一部抜粋）。

(3) 本大会の男女団体戦上位５チームは県大会への参加義務を負う。
※1 団体戦で県大会出場資格を得たチーム（3位～5位）は、県大会出場順位決定戦を行う。
※2 県大会出場申し込みは、福岡県中体連ホームページよりダウンロードをおこない、福岡県新人柔道大会要項に記載されている期日を厳守すること。

(4) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
① 大会前１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする（なお、至急専門医の精査を受けること）。
③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

(5) 監督・コーチの服装は、審判員に準ずる。

(6) ＡＥＤは、会場内ロビーに設置しています。

(7) Jアラート警報時は、試合を一時中断し安全を確保する。警報が解除され次第試合を再開する。

(8) 救護を本部横に設置している。

(9) 準備運動（ウォームアップ）の際に打ち込み等の受けとして入場できるのは、原則として出場資格を有した当該チーム内の選手のみとする（中学３年生は対象外とする）。また、試合会場内に入場できるのは大会関係者のみとし、保護者、登録されていないコーチ等の入場はできない。

(10) 選手の靴は選手待機場所（剣道場）に持ち込み、各チームで持参したレジャーシート等の上に必ず置くこととする。

12. 連　絡　団体出場チームは、大会当日、メンバー表を持参すること。（模造紙縦置きの縦1/4）

先	次	中	副	大	チーム名

※女子は、次鋒・副将を空欄とする。